



西野在住の小島さんは、外国からの留学生などを受け入れるホームステイボランティアを始め、今年で十四年になります。きっかけは、小島さんの勤め先で以前からこのボランティアをしている人に勧められたこと。その人からホームステイの話を聞くうちに外国に興味を持つようになりました。片言の英語で相手に通じるか不安もありました。が、当たって砕けろという気持ちで応募しました。今までにアジアを中心に十二カ国の人たちを受け入れました。初めては「日本のこと知りたい」と思い、相手

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒 063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz

毎週月曜日午前11時~

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2006・5



まちのへ

(財)札幌国際プラザ
ホームステイボランティア
札幌ホームステイ協会役員

こじま 小島 ひろえさん(48)

○ホームステイボランティア制度とは

国際交流を目的に外国から札幌に訪問する人を家庭に迎え、家族ぐるみで交流を行う制度。

詳しくは、(財)札幌国際プラザへ(TEL 211-2105)。



■アメリカ・ポートランドのテレビスタッフと小島さんの家族

札幌で良い思い出をつくってほしい

にあれこれしてあげようという気持ちでいっぱいでした。当時、ある国の中学生らを招いて日本の家庭料理を味わつてもらおうと、のり巻きを振る舞つたときのこと。その中の一人が「ご飯が食べられない」と言つて泣き出したことがあります。それからは自分の気持ちを押し付けないよう、相手の希望を聞いてもうなすように心がけています。ホームステイを終えた人と別の留学生からは韓国の民族衣装の「チマ・チョゴリ」をもらつたりしました。もともと人と接することが好きな小島さんですが、言葉も習慣も違う人と初めて会うときは、仲良くできるか不安になります。しかし、不安を乗り越えて「友達になれた」と感じたときが一番うれしいそうです。

今までこの活動を続けられたのは「家族が協力してくれたから」と楽しそうに話す小島さん。これからも「札幌に来て良かった」と思われるようもてなしたいと張り切っています。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんの意見をお寄せください。はがき、ファックス、Eメール nishi@city.sapporo.jp で西区総務企画課広聴係(上欄)へ。